

船 井 陸 協 通 報

第25回定時総会を開催

船井郡陸上競技協会第25回定時総会を平成19年3月17日に南丹市園部町内において開催しました。総会では、杣田会長のあいさつの後、平成18年度の事業総括として、「あいにくの荒天により船井選手権を中止したが、京都丹波ロードレースを主催し、会員や支援者の協力により開催できたこと、また、南丹市や船井郡から参加した多くの小学生たちが京都府下の大会において優秀な成績を記録したことなど、会員の連携と協力による協会運営と事業成果による競技力向上が実を結んできた」と関理事長からの総括報告があり、続いて各部長から平成18年度の事業実績報告が行われました。その後、会計及び監事から平成18年度の収支決算報告と監査報告が行われ、いずれも承認されました。



次に、任期満了による協会役員の変更が行われ平成19・20年度役員（別頁に記載）として、前期に引き続いて会長に杣田勇市氏を、副会長に中村武司氏と森利夫氏の2名を、監事に吉田守氏と尾池充嘉氏の2名を選出しました。そして、協会事業の運営を支える理事長には関隆宏氏を選任するとともに、各部を担当する理事も新たに選任しました。

その後、新役員から協会規約の一部改正案として「船井郡内」を「南丹市及び船井郡内」の表記に改めること、会計年度を1月1日から12月31日までとすることが提案され、全員賛成で可決しました。また、平成19年度の船井郡陸上競技協会の事業計画（別頁に記載）としての競技会日程や収支予算案が提案され、原案どおり承認されました。

特に総会では、前年の成果から京都丹波ロードレースの発展的な開催を全員一致で決定し、新年度も会員一同が連携と協力を強め、協会運営と競技者の競技力向上に努めることを確認して閉会しました。

平成19年度主催競技会

No	期 日	競 技 会 名	場 所
1	19. 4.30 (月)	南丹市・船井郡小学生陸上競技教室兼記録会	丹波自然運動公園
2	19. 4.30 (月)	船井郡陸協 春季強化記録会	丹波自然運動公園
3	19. 7.14 (土)	第26回船井郡陸上競技選手権大会	丹波自然運動公園
4	19.10.21 (日)	船井郡陸協 秋季強化記録会	丹波自然運動公園
5	19.11. 3 (月)	京都丹波ロードレース	丹波自然運動公園

平成19・20年度役員(主な役員のみ)

会 長	杉田 勇市	理 事 長	関 隆宏
副 会 長	中村 武司	会 計	吉田 寿史
副 会 長	森 利夫	総務部長	永塚 則昭
顧 問	田中 臣二	審判部長	内藤 竹司
顧 問	松本 貞昭	競技部長	宇野 稔
顧 問	高屋 信康	記録情報処理部長	斉藤 昌久
監 事	吉田 守	強化部長	宅間 治郎
監 事	尾池 充嘉	広報部長	関 喜多

2006京都丹波ロードレースの報告!



全国から多くのランナーが丹波の地に集った『京都丹波ロードレース』を開催できました。

船井郡陸上競技協会では、昭和57年に開催の丹波高原マラソンの開催以来、丹波地域における全国規模のロードレース大会の運営に20年以上携わってきた経緯があることから、全国規模の大会の消滅を回避できないかとの熱い思いから、これまでの大会に代わる新たな大会として、10kmロードレースを核とする

『京都丹波ロードレース』大会を平成18年11月3日に開催しました。

京都府立丹波自然運動公園を発着点とする10kmロードレースを中心として5km・3kmのロードレースと3kmファミリーレースも同時に開催しました。

記念すべき新たなスタートの大会が成功裡に終わり、次年度以降も引き続いて多くの参加者を迎えて開催される大会へと発展することを期待しています。



2007 KYOTO TANBA ROAD RACE 要項決定!

- 期 日 2007年11月3日(雨天決行)
- 開 始 式 午前10時00分
- 種 目 10kmロードレース(高校生以上:参加料3,000円)
5kmロードレース(参加料2,000円:高校生以下1,500円)
3kmロードレース(参加料2,000円:中学生以下1,500円)
- スタート 3kmロードレース=午前10時30分
5kmロードレース=午前10時45分
10kmロードレース=午前11時00分
- 主 催 船井郡陸上競技協会 (財)京都府立丹波自然運動公園協力会
後 援 京丹波町 京丹波町体育協会 南丹市 南丹市体育協会
京都新聞社
- 運営協力 京都陸上競技協会 (株)チョッパー
支援協力 南丹警察署 京都中部広域消防組合 船井医師会
京都アマチュア無線振興会(予定)
- コ ー ス 京都府立丹波自然運動公園発着新設コース
- 競技規則 2007年度日本陸上競技連盟競技規則並びに大会申し合わせ規則による。なお、10kmロードレースについては、交通規制の関係上、時間規制を設ける(スタートより8km地点で60分)
- 参加資格 誰でも参加できます。但し、視覚障害者は伴走者が必要。

= 種目・種別 =

10kmロードレース	5kmロードレース	3kmロードレース
1部/男子29歳以下	11部/男子29歳以下	24部/ファミリーの部
2部/男子30歳代	(高校生以上)	(年齢制限なし・但し
3部/男子40歳代	12部/男子30歳代	幼児は同伴者が必要)
4部/男子50歳代	13部/男子40歳代	
5部/男子60歳以上	14部/男子50歳代	25部/中学生男子の部
	15部/男子60歳以上	26部/中学生女子の部
6部/女子29歳以下	16部/女子29歳以下	
7部/女子30歳代	(高校生以上)	27部/小学5・6年生
8部/女子40歳代	17部/女子30歳代	(男子の部)
9部/女子50歳代	18部/女子40歳代	28部/小学5・6年生
10部/女子60歳以上	19部/女子50歳代	(女子の部)
	20部/女子60歳以上	
	21部/高校生男子の部	
	22部/高校生女子の部	

記録ボックス

南丹市・船井郡で活躍する
選手の記録を紹介します。

京都府高校総体京都市大会

野中くん男子ハンマー投げで京都高校新記録

5月19日・20日に西京極陸上競技場で開催された第60回京都府高校総体陸上競技の部京都市大会で、園部高校3年生の野中直道くんが3年男子ハンマー投げで60m17の京都高校新記録になる大会新記録で優勝し、同じ園部高校の笠原孝夫くんも同種目で2位に入賞しました。また、園部高校の宮木淳平くんも3年男子円盤投げで51m91の大会新記録で優勝しました。

京都府高校総体（インターハイ京都府予選）

園部高校の野中くんハンマー投げ京都高校新記録で優勝

園部高校の宮木くん円盤投げ大会新記録で優勝

園部高校の中西くんやり投げで優勝

6月1日から3日に西京極陸上競技場で開催された第60回京都府高校総体において、園部高校の野中直道くんが男子ハンマー投げで5月に自ら記録した京都高校記録を更新する62m26の京都高校新記録で堂々優勝しました。同大会では、園部高校の宮木淳平くんが男子円盤投げで53m41の大会新記録で優勝、同じく中西一平くんが男子やり投げで63m44の記録で優勝しました。

近畿インターハイ

野中直道くん男子ハンマー投げで優勝

宮木淳平くん男子円盤投げで優勝

6月14日から17日に西京極陸上競技場で開催された第60回全国高校総体（インターハイ）近畿予選において、園部高校の野中直道くんが男子ハンマー投げで60m70の記録で優勝しました。また、園部高校の宮木淳平くんが男子円盤投げで51m85の記録で優勝しました。2人は、8月2日から佐賀県で開催されるインターハイへの出場切符を手にしました。インターハイでは全国制覇を目標に、持てる力を十分に発揮されることを願います。

京都府高校定時制通信制陸上競技選手権

北桑田高校美山分校の名古くん走幅跳びで優勝

北桑田高校美山分校の矢野くん円盤投げで優勝

6月17日に太陽が丘陸上競技場で開催された第47回京都府高校定時制通信制陸上競技選手権において、北桑田高校美山分校の名古祐平くんが男子走幅跳びで5m41の記録で優勝しました。同じく北桑田高校美山分校の矢野誠也くんが男子円盤投げで31m07の記録で優勝しました。